

教育普及に関わる活動報告 Report on Education Programs

常設展を活用したプログラムは例年どおり充実したものとなった。今年度は本館が世界遺産に登録されたことから「建築ツアー」へ人気集中した。そこで、他のプログラムでも本館を取りあげて世界遺産登録から当館に興味・関心をもってくれた来館者へ対応した。「ファン・ウィズ・コレクション」では、本館と世界遺産をテーマとする小資料展示を開催し、秋の「どうぶじゅつ」では本館の建物をテーマとする内容で実施した。「美術トーク」は昨年より参加者数が増加した。「美術館でクリスマス」は、声楽にギターの演奏も加えたコンサートを企画して好評を博した。

今年度は、4回目となるボランティア募集を行ない、とくに「建築ツアー」の回数を増やすために、その担当となるボランティア・スタッフを多く採用し、1年かけて全候補生の研修を行なった。今後は、6年を任期として3年ごとに募集を行なっていく予定である。

特別展関連のプログラムについては、「クラナハ展」の講演会は大変盛況を博すすべての講演会が満席となった。

ここ数年、台東区教育委員会や上野公園内の美術館、博物館が連携して活動することが増えてきている。当館は、今年度も東京都美術館の「Museum Start あいうえの」、国立科学博物館の「教員のための博物館の日」、台東区の「区民講座」に入館料免除やプログラム講師などの支援を行なった。

1) 常設展関連プログラム

当館の所蔵作品および常設展示に関連して実施されるプログラム。

■美術トーク

所蔵作品5～7点を鑑賞していく、ボランティア・スタッフによる一般向けギャラリートーク。開館している第1・3・5土曜日と日曜日に実施。参加者：計1,636名(69回)

■建築ツアー

ル・コルビュジェ設計の本館や前庭を巡る、ボランティア・スタッフによる一般向け建築ツアー。開館している第2・4土曜日に実施(当日予約制)。参加者：計641名(32回) *団体向けツアーは除く

■平日大人向けトーク

参加者：計50名(1回) *団体向け建築ツアーはこちらに加算

■美術館でクリスマス

「ギャラリートーク」

常設展の見どころや、おもしろい作品についてボランティア・スタッフが行なうトーク。
12月17日(土)/18日(日) ①12:00-12:30 ②13:00-13:30
③14:00-14:30
参加者：計156名

「クリスマスキャロル・コンサート」

クリスマスにちなんだ曲を中心に演奏する歌とギターのコンサート。
12月17日(土)/18日(日) ①11:00-11:40 ②15:00-15:40
企画：平松英子(東京芸術大学准教授)

演奏：金持亜実(ソプラノ)、金成佳枝(ソプラノ)、田部井辰雄(ギター)
参加者：計395名

「作って飾ろうクリスマス キラキラツリー★アートツリー」(立ち寄り制ワークショップ)

ボランティア・スタッフが企画したオーナメント作りワークショップ。
12月17日(土)/18日(日) 10:00-15:00
参加者：計291名

■ファン・ウィズ・コレクション2016

[ル・コルビュジェと無限成長美術館—その理念を知ろう—]

「スライドトーク」

本展に関連した講堂でのトーク。
8月19日(金)/26日(金) 19:00-19:30
参加者：38名

「本館のバッジをつくろう！」

本館の絵柄を使ったバッジを作る立ち寄りワークショップ。
8月13日(土)/20日(土) ①9:30-12:00 ②14:00-16:30
参加者：1,628名

■サマープログラム ボランティアアート

「あおげば涼し アートでうちわ！」

ボランティア・スタッフが企画したうちわ作りの立ち寄りワークショップ。
8月6日(土)/7日(日)/27日(土)/28日(日) ①11:00-13:00
②14:00-16:00
参加者：719名

2) 特別展関連プログラムなど

年3回開催される特別展に関連して実施される、講演会、シンポジウム、スライドトーク、ギャラリートーク、コンサートなど。

■講演会

時間・場所：14:00-15:30 講堂
参加費：無料



[日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展]

5月14日(土)

「ローマとナポリにおけるカラヴァッジョの継承者たち」
川瀬佑介(国立西洋美術館研究員)
参加者:154名

[聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画]

7月9日(土)

「イスラエル・ファン・メッケネムのコピー制作について」
アヒム・リーター(ミュンヘン州立版画素描館15-18世紀ドイツ部門主任学芸員) *同時通訳付(ドイツ語)
参加者:56名

8月6日(土)

「ドイツ初期版画の魅力」
平川佳世(京都大学大学院准教授)
参加者:54名

8月27日(土)

「俗なるもの—メッケネムと世俗主題版画」
中田明日佳(国立西洋美術館研究員)
参加者:34名

[クラナハ展—500年後の誘惑]

10月15日(土)

「旅する芸術家—クラナハとネーデルラント」
グイド・メスリング(ウィーン美術史美術館学芸員) *同時通訳付(ドイツ語)
参加者:122名

10月29日(土)

「クラナハ VS. デューラー:ドイツにおける「芸術家」の誕生をめぐる」
秋山聰(東京大学教授)
参加者:149名

11月19日(土)

「クラナハと宗教改革」
田辺幹之助(東京藝術大学教授)
参加者:145名

12月10日(土)

「誘惑は時を超えて—クラナハと〈女のちから〉」
新藤淳(国立西洋美術館研究員)
参加者:145名

[日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 スケーエン:デンマークの芸術家村]

2月11日(土)

「スケーエン派の画家たち」
リセッテ・ヴァイン・エベエセン(スケーエン美術館長) *同時通訳付(英語)
参加者:74名

[科学研究費基盤研究C「ブッサン晩年の風景画における語りと寓意に関する総合的研究」関連]

9月3日(土) 14:00-16:30

「歴史のなかのニコラ・ブッサンの芸術」
ヘンリ・キーゾル(ハイデルベルク大学教授) *同時通訳付(ドイツ語)
主催:国立西洋美術館
後援:日仏美術学会
協力:西洋美術振興財団、科研費基盤研究(C)「ブッサン晩年の風景画における語りと寓意に関する総合的研究」
参加者:89名

■シンポジウム

[科学研究費基盤研究A「17世紀オランダ美術の東洋表象研究」関連]

1月21日(土) 10:00-18:00

「17世紀オランダ美術と〈アジア〉」
主催:国立西洋美術館
協力:ポーラ美術振興財団、西洋美術振興財団
*同時通訳付(英語)

「アジアを収集する、アジアを表象する」

幸福輝(国立西洋美術館)

「オラニエ=ナッサウ家の磁器収集と陳列の諸相」

櫻庭美咲(国立歴史民俗博物館)

「贅沢か虚無か—18世紀初頭の室内画における磁器の表象」

青野純子(九州大学)

「記憶と幻想—17世紀の日本製輸出漆器にみる風景表現」

日高薫(国立歴史民俗博物館)

「世界的文脈における17世紀と18世紀デルフト多彩陶器」

施静非(国立台湾大学)

「反響の枠組み—“インド”の貝殻表面とオランダの収集 1550-1650」

アンナ・グラスカンプ(香港浸会大学/ハイデルベルク大学)

「書画同源? オランダと漢字の出会い」

深谷訓子(京都市立芸術大学)

「フェルメールが描いた磁器」

テイス・ウエストステイン(ユトレヒト大学)

「西洋と東洋の出会い—美的イメージとしての東洋」

尾崎彰宏(東北大学)

参加者:計50名

■スライドトーク・ギャラリートーク

時間・場所:18:00-18:30 講堂

参加費:無料

[カラヴァッジョ展]

スライドトーク:中江花菜(東京藝術大学大学院)

4月8日(金)/22日(金)、5月13日(金)/27日(金)

参加者:計495名

[メッケネムとドイツ初期銅版画展]

スライドトーク:中田明日佳(国立西洋美術館研究員)

7月15日(金)、8月12日(金)、9月9日(金)

参加者:計151名

[クラナハ展]

スライドトーク:龍真未(東京藝術大学大学院博士後期課程)

10月21日(金)、11月11日(金)/25日(金)、12月16日(金)

参加者:計250名

[シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才展]

スライドトーク:中津海裕子(東京大学駒場博物館職員)

3月2日(金)/10日(金)/24日(金)

参加者:計208名

■障がい者のためのプログラム

展覧会の作品について、15分程度の概要説明のレクチャーを講堂で行なった後、参加者が自由鑑賞するプログラム。

「カラヴァッジョ展特別鑑賞会」

5月14日(土) 18:00-20:00



共同実施：三菱商事株式会社（三菱社員ボランティア29名）
参加者：171名

3) ファミリープログラム

6-9歳の子どもと同伴の大人を対象にしたファミリープログラムは、常設展示室の作品鑑賞とそれに関連する創作や体験がセットになった予約制プログラム「どようびじゅつ」があり、教育普及室とボランティア・スタッフによって運営、実施されている。

■どようびじゅつ

「あかるいところくらいところ」

絵画の明暗に注目して鑑賞した後でワークショップ室に移動し、カラーセロハンを好きな形に切って組み合わせたものをラミネート加工し、色の重なりを楽しんだ。

4月2日（土）/16日（土）、5月7日（土）/21日（土） 各日①10:00-12:00 ②14:00-16:00
参加者：計120名

「セイビのたてももの再発見！2016」

7月に世界文化遺産登録が決まった本館と前庭をテーマに、親子で建物の特徴を楽しむ「建築ツアー」と、建物の材料として使われているコンクリートを使ったペーパーウエイト作りを楽しんだ。

9月3日（土）/17日（土）、10月1日（土）/15日（土）、11月5日（土）/19日（土） 各日①10:00-12:00 ②14:00-16:00
参加者：計178名

「わくわく☆わ〜く!!」

絵画の「額」に注目しながら展示室で3点の絵画を鑑賞し、その後ワークショップ室で段ボールを自由に切り抜いてオリジナルの額縁を作った。

2017年3月4日（土）/18日（土） 各日①10:00-12:00 ②14:00-16:00
参加者：計54名

4) 学校関連プログラム

■スクール・ギャラリートーク

当館の常設展示作品について、ボランティア・スタッフが中心となって実施している予約制のプログラム。

参加者：計2,793名（83件）
幼稚園児=148名（2件）、小学生=1,834名（40件）、中学生=471名（22件）、高校生以上=360名（20件）

■オリエンテーション

大人数の団体を対象に、講堂で行なう常設展あるいは特別展についての予約制の解説。教育普及室が実施。

参加者：計953名（16件）
小学生=234名（3件）、中学生=288名（3件）、高校生以上=431名（10件）

■職場訪問

おもに、中学生による美術館の仕事に関する訪問インタビュー。教育普及室で対応。

参加者：計11名（3件）
中学生=11名（3件）

■国立美術館アートカード・セット

独立行政法人国立美術館所蔵作品を使用した鑑賞用教材アートカードの貸し出し。

13件（80セット）
小学校=6件（52セット）、中学校=2件（15セット）、高校以上=5件（13セット）

■先生のための鑑賞プログラム

特別展ごとに小・中学校、高校の教員を対象に、指定時間中の無料観覧を行なうと同時に、展覧会の趣旨やおもな作品について展覧会担当者が講堂で約40分間のレクチャーを行なう。

[メッケネムとドイツ初期銅版画展]

7月29日（金） 展覧会観覧9:30-20:00 レクチャー 18:00-18:40

講師：中田明日佳（国立西洋美術館研究員）

参加者：60名（うちレクチャー参加者13名）

[クラーナハ展]

11月4日（金） 展覧会観覧16:00-20:00 レクチャー 18:00-18:40

講師：新藤淳（国立西洋美術館研究員）

参加者：50名（うちレクチャー参加35名）

[シャセリオー展]

2017年3月31日（金） 展覧会観覧16:00-20:00 レクチャー 18:00-18:40

講師：陳岡めぐみ（国立西洋美術館主任研究員）

参加者：31名（うちレクチャー参加16名）

■教員研修

学校と美術館の連携を推進することを目的として、小学校および中学校の教員による研究会と複数の美術館が共同して企画・実施する鑑賞教育のための研修。

東京都中学校美術教育研究会・東京国立近代美術館・東京都現代美術館・国立西洋美術館合同教員研修会

7月25日（月） 9:00-17:00 東京国立近代美術館 鑑賞研修

5) ボランティア

ボランティア・スタッフは、3つのグループに分かれて当館のさまざまなプログラムをサポートし、さらにボランティア・スタッフ自身が企画するプログラムも実施している。また、ボランティアは、当館での活動に必要な知識や技術を習得するための研修にも参加している。

■活動内容

Aグループ：スクール・ギャラリートーク、ファミリープログラム

Bグループ：美術トーク

Cグループ：建築ツアー

全グループ：「ファン・デー」「美術館でクリスマス」「ボランティア・スタッフ自主企画」

■研修と会合

[現ボランティア・スタッフ対象の研修]

5月28日（土） 「西洋美術館の建築に関する講義」福田京（国立西洋美術館専門職員）

[ボランティア・スタッフ候補者対象の養成研修]

6月7日（火） 講義①「国立西洋美術館の役割」山下和茂（国立西洋美術館副館長）

講義②「西洋美術館の所蔵作品について」村上

- 博哉(国立西洋美術館副館長・学芸課長)
- 6月21日(火) 講義「世界遺産について」福田京
- 6月28日(火) 講義①「世界遺産について」福田京
講義②「コルビュジエの建築について」山名善之(東京理科大学教授)
- 7月5日(火) 講義①「西洋美術館 所蔵品解説①」袴田紘代(国立西洋美術館研究員)
講義②「西洋美術館 所蔵品解説②」新藤淳(国立西洋美術館研究員)
- 7月12日(火) 講義「西洋美術館の建築について」米山勇(江戸東京博物館学芸員)
近現代建築資料館見学
- 7月19日(火) 講義①「西洋美術館 所蔵品解説③」川瀬佑介(国立西洋美術館研究員)
講義②「美術品の保存・修復について」邊牟木尚美(国立西洋美術館特定研究員)
- 8月9日(火) 講義「建築ツアーで話す内容」福田京
「建築ツアー」福田京
「大人向けトークに関する説明、建築ツアーの準備・手順説明」寺島洋子(国立西洋美術館主任研究員)、杉浦央子(国立西洋美術館研究補佐員)
- 8月23日(火) 「ファミリープログラム『どようびじゅつ』概要説明」寺島洋子
「どようびじゅつ」秋期サポートの説明」杉浦央子
「西洋美術館の教育普及活動について①」寺島洋子
- 9月～3月 建築ツアーアシスト
- 9月～11月 模擬建築ツアー
- 9月～11月 どようびじゅつサポート
- 9月20日(火) 講義①「西洋美術館 所蔵品解説④」渡辺晋輔(国立西洋美術館主任研究員)
講義②「西洋美術館 所蔵品解説⑤」陳岡めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)
- 10月4日(火) 講義①「西洋美術館 所蔵品解説⑥」中田明日佳(国立西洋美術館研究員)
講義②「西洋美術館 所蔵品解説⑦」飯塚隆(国立西洋美術館研究員)
- 10月18日(火) 「研究資料センターの使い方」川口雅子(国立西洋美術館主任研究員)
「西洋美術館の教育普及活動について②」横山佐紀(国立西洋美術館主任研究員)
- 10月25日(火) ワークショップ「見る、考える」大野照文(三重県立総合博物館館長)
- 11月8日(火) 講義「学習指導要領について」岡田京子(文部科学省教科調査官)
「SGTの概要と準備説明」寺島洋子

- 11月～12月 「美術トーク、模擬トーク」寺島洋子、横山佐紀、杉浦央子
- 12月～1月 「SGT 模擬トーク」寺島洋子、横山佐紀、杉浦央子
- 3月25日(土) 「SGTの手順説明」「美術トークの手順説明」杉浦央子
講義「北斎とジャポニズム展について」馬淵明子(国立西洋美術館長)

6) インターンシップ

当館では、西洋美術に関心をもつ人材の育成と、当館の活動をより広く理解してもらうことを目的として、大学院生以上を対象としたインターンシップを実施している。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、それぞれが希望する専門分野に分かれてさまざまな業務に実際に携わる。

[教育普及室]

インターン：武智あさぎ、小柳佳南子、堀切里美、稲垣真璃絵

期間： 5月1日～10月31日

指導： 寺島洋子

内容： 教育普及プログラムの企画・実施の補助、および常設展セルフガイド制作

[絵画・彫刻・版画素描室]

インターン：吉田一馬

期間： 5月1日～9月30日

指導： 川瀬佑介

内容： 当館所蔵作品の来歴・展覧会歴の調査研究および絵画・彫刻室関連業務の補佐

インターン：梅村尚幸

期間： 5月1日～10月31日

指導： 新藤淳

内容： 当館所蔵作品の来歴・展覧会歴の調査研究および版画素描室関連業務の補佐

インターン：龍真未

期間： 5月1日～10月31日

指導： 中田明日佳

内容： 展覧会の準備、カタログ編集業務などの補佐

[情報資料室]

インターン：石黒裕加子

期間： 5月1日～10月31日

指導： 川口雅子

内容： アート・ドキュメンテーションの最新状況と今後の可能性について

インターン：岩崎達也

期間： 5月1日～7月31日

指導： 川口雅子

内容： 美術図書館と社会貢献

7) 他組織との連携

■東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻の教育・研究における連携・協力

期間：2016年4月1日～2017年3月31日

内容：文化資源学研究専攻の一層の充実と、当該研究科の学生の資質向上を図り、相互の教育・研究の交流を促進した。



■東京都美術館

期間：2016年4月1日–2017年3月31日

内容：東京都美術館が企画する「Museum Start あいうえの」の支援

■国立科学博物館

期間：2016年7月26–29日

内容：国立科学博物館が企画する「教員のための博物館の日」の支援

■台東区教育委員会

期間：2016年4月1日–2017年3月31日

内容：「学びのキャンパスプランニング事業」の支援

8) 出版物

■展覧会カタログ (*展覧会の欄参照)

■展覧会作品リスト

展覧会の概要と出品作品リストを含む無料配布の作品リスト

[メッケネム展] A3 (二つ折り)

[クラーナハ展] A3 (二つ折り)

[シャセリオー展] A3 (二つ折り)

■ジュニア・パスポート

展覧会の入場券を兼ねた小・中学生を対象とした展覧会ガイド

[メッケネム展] A3 (四つ折り)

[クラーナハ展] A3変形 (巻三つ折り)

[シャセリオー展] A5 (冊子)

■ゼフュロス

当館の展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊 (年4回) のニュースレター。

No.67 – No.70 A5 (8頁・中綴じ)

(寺島洋子・横山佐紀・杉浦央子)

スタッフ・リスト

[教育普及室]

寺島洋子、横山佐紀、前園茂宏、杉浦央子

平松英子、イシカワカズ (客員研究員)

[ボランティア・スタッフ]

新井智子、安藤まりえ、石川佐知子、磯田暉子、稲森珠実、井上直子、大堀隆嗣、岡田史穂子、岡田正宇、小川滋、小竿真紀、榊原たまき、里広江、澤野曠一、塩田伸一、白田詠子、鈴木由紀、鈴木伊知子、高野涼子、田上恵子、谷口武教、長井靖子、中尾小絵、中山裕子、中野恵子、中村宏美、西田通子、橋本典子、畑中たまき、浜田明美、檜谷錦子、平賀恵美、福良恵子、文屋信男、前田直哉、三好美智子、森保裕恵、山本三津江、横島ミサコ、和田昭子

As usual, the Education Department presented a full array of programs that utilized the Permanent Collection Galleries. This year's naming of the Main Building as a UNESCO World Heritage site meant there was particular interest in the Department's Architectural Tours. Hence we developed other programs that would respond to those visitors who expressed an interest in the World Heritage List registration.

The Fun with Collection program included a small display on the theme of the Main Building and World Heritage. As well, the Doyo Bijutsu program in the autumn focused on the Main Building's architectural features. There was a larger audience for this year's Art Talks than in previous years. The Christmas in the Museum program's presentation of a choral and guitar concert was particularly well received.

The fourth call for volunteer staff was held during this fiscal year, and

given the increased number of architectural tours we assigned a larger number of volunteer staff to those tours. And all volunteer candidates underwent a year of training. We plan to switch to a six-year volunteer assignment, with calls for new staff every three years.

Regarding programs related to special exhibitions, the lectures for the Cranach exhibition were extremely popular and all lectures had capacity audiences.

Over the past few years, coordinated activities have increased between the Taito City Board of Education and the museums in Ueno Park. The NMWA supported this year's programs via the waiving of entrance fees and providing program teachers for the Tokyo Metropolitan Art Museum's Museum Start A-I-U-E-N-O program, the National Science Museum's Museum Day for Educators program and Taito City's lecture program.

1) Programs Related to the Permanent Collection

■ Art Talks

Art Talks are designed to help adult visitors enjoy our permanent collection. The volunteer staff conduct Art Talks every Sunday plus the first, third and fifth Saturday when the museum is open, and focus on five to seven artworks on display.

Total participants: 1,636 (69 talks)

■ Architectural Tours

This program is designed to help adult visitors enjoy the Museum buildings. The volunteer staff conducts Architectural Tours on the second and the fourth Saturday when the museum is open, and focus on the Main Building and Forecourt Garden, which were designed by the French architect Le Corbusier.

Total participants: 641 (32 tours)

■ Weekday Gallery Talks for Adults

Total Participants: 50 (1 tour)

■ Christmas in the Museum

“Gallery Talks”

Members of the volunteer staff presented talks on one work in the Permanent Collection Galleries. (*In Japanese)

Saturday 17 and Sunday 18 December, ① 12:00–12:30 ② 13:00–13:30 ③ 14:00–14:30

Total participants: 156

“Christmas Carols”

Concerts were held featuring Christmas carols performed by choir and guitar.

Saturday 17 and Sunday 18 December, ① 11:00–11:40 ② 15:00–15:40

Organizer: Eiko Hiramatsu (Associate Professor, Tokyo University of the Arts)

Musicians: Ami Kanaji (soprano), Yoshie Kanenari (soprano), Tatsuo Tabei (guitar)

Total participants: 395

“Make and Decorate Christmas! Twinkle Trees and Art Trees”

This drop-in Christmas ornament-making program was planned and run by Volunteer Staff members.

Saturday 17 and Sunday 18 December, 10:00–15:00

Total participants: 291

■ Fun with Collection 2016

Two types of programs were held as summer programs featuring the NMWA Main Building and Permanent Collection Galleries.

[Le Corbusier and the Museum of Unlimited Growth – Understanding this Ideal]

“Slide Talk”

Friday 19 and 26 August, 19:00–19:30

Total participants: 38

“Let’s Make an NMWA Main Building Badge!”
Saturday 13 and 20 August, ① 9:30–12:00 ② 14:00–16:30
Total participants: 1,628

■ Summer Program / Volunteer+Art

“Cool and Refreshing! Art Fans!”
*Organized by NMWA Volunteer Staff
Saturday 6, Sunday 7, Saturday 27, Sunday 28, August, ① 11:00–13:00
② 14:00–16:00
Total participants: 719

2) Special Exhibition-related Programs and Others

■ Lectures

14:00–15:30, auditorium, free of charge

[Caravaggio and His Time: Friends, Rivals and Enemies]

Saturday 14 May 2016
“The Caravaggists in Rome and Naples”
Yusuke Kawase (Curator, National Museum of Western Art)
Participants: 154

[Sacred and Secular: Israhel van Meckenem & Early German Engraving]

Saturday 9 July 2016
“Israhel van Meckenem’s Copy Works”
Achim Riether (Curator, Staatliche Graphische Sammlung, München)
*Lecture presented in German, simultaneous interpretation into Japanese.
Participants: 56

Saturday 6 August 2016
“The Fascination of Early German Prints”
Kayo Hirakawa (Associate Professor, Graduate School of Letters, Kyoto University)
Participants: 54

Saturday 27 August 2016
“The Secular: Israhel van Meckenem and Secular Subject Prints”
Asuka Nakada (Curator, National Museum of Western Art)
Participants: 34

[Lucas Cranach the Elder: 500 Years of the Power of Temptation]
Saturday 15 October 2016
“Traveling Artist: Cranach and the Netherlands”
Guido Messling (Curator, Kunsthistorisches Museum, Vienna)
*Lecture presented in German, simultaneous interpretation into Japanese.
Participants: 122

Saturday 29 October 2016
“Cranach vs. Dürer: The Birth of ‘The Artist’ in Germany”
Akira Akiyama (Professor, University of Tokyo)
Participants: 149

Saturday 19 November 2016
“Cranach and the Reformation”
Mikinosuke Tanabe (Professor, Tokyo University of the Arts)
Participants: 145

Saturday 10 December 2016
“Temptation that Surpasses Time: Cranach and ‘The Power of Women’”
Atsushi Shinfuji (Curator, National Museum of Western Art)
Participants: 145

[Skagen: An Artists’ Colony in Denmark]

Saturday 11 February 2017
“The Skagen Painters”
Lisette Vind Ebbesen (Director, Art Museums of Skagen)
*Lecture presented in English, simultaneous interpretation into Japanese.
Participants: 74

[Grants-in-Aid for Scientific Research (C) “A Comprehensive Study of Narrative and Allegory in Poussin’s Late Landscapes”]

Saturday 3 September 2016, 14:00–16:30
“Nicolas Poussin’s Arts in History”

Henry Keazor (Professor, Heidelberg University)
(*Lecture presented in German, simultaneous interpretation into Japanese.)

Organized by: National Museum of Western Art
With the support of: Société franco-japonaise d’art et d’archéologie
With the cooperation of: The Western Art Foundation, Grant-in-Aid for Scientific Research (C) “A Comprehensive Study of Narrative and Allegory in Poussin’s Late Landscapes”
Participants: 89

■ Symposium

[Grant-in-Aid for Scientific Research (A) “Research on Asian Expression in 17th Century Dutch Art”]

Saturday 21 January 2017, 10:00–18:00
“Dutch Seventeenth-Century Art and ‘Asia’”
(*Presentations in Japanese and in English with simultaneous interpretation.)

Organized by: National Museum of Western Art
With the cooperation of: Pola Art Foundation, The Western Art Foundation

“Collecting Asia, Representing Asia”
Akira Kofuku (National Museum of Western Art)

“Considerations on the Orange-Nassau Family’s Collection of Porcelain and its Display”
Miki Sakuraba (National Museum of Japanese History)

“Luxury or Vanity—Depicting Porcelain in Early Eighteenth-Century Dutch Interiors”
Junko Aono (Kyushu University)

“Memories and Fantasy in Japanese Export Lacquer of the Seventeenth-Century”
Kaoru Hidaka (National Museum of Japanese History)

“Delft Polychrome Wares of the Seventeenth and Eighteenth-Centuries in a Global Context”
Chingfei Shih (National Taiwan University)

“The Frames of Reflection: ‘Indian’ Shell Surfaces and Dutch Collecting, 1550–1650”
Anna Grasskamp (Hong Kong Baptist University / Cluster of Excellence Asia and Europe in Global Context at Heidelberg University)

“The Sister Arts of Painting and Calligraphy? Early Knowledge of Chinese Characters (Kanji / Hanzi) in the Netherlands”
Michiko Fukaya (Kyoto City University of Arts)

“Vermeer’s Painted Porcelain”
Thijs Weststeijn (Utrecht University)

“Encounters between Europe and Asia—The East as Aesthetic Image”
Akihiro Ozaki (Tohoku University)

Total participants: 50

■ Slide Talks & Gallery Talks

All 18:00–18:30, auditorium, free of charge

[Caravaggio and His Time]

Friday 8 April, Friday 22 April, Friday 13 May, Friday 27 May 2016
Kana Nakae (Graduate School, Tokyo University of the Arts)
Total Participants: 495

[Israhel van Meckenem & Early German Engraving]

Friday 15 July, Friday 12 August, Friday 9 September 2016
Asuka Nakada (Curator, National Museum of Western Art)
Total participants: 151

[Lucas Cranach the Elder]

Friday 21 October, Friday 11 November, Friday 25 November, Friday 16 December 2016
Manami Ryu (Ph.D. candidate, Tokyo University of the Arts)
Total Participants: 250



[Théodore Chassériau: Parfum exotique]

Friday 2 March, Friday 10 March, Friday 24 March 2017
Yuko Nakatsumi (Komaba Museum, University of Tokyo)
Total Participants: 208

■ Program for the Disabled

After a 15-minute general explanation of the works in the exhibition, visitors were allowed to freely enjoy the exhibition.

Special Viewing Session for the exhibition “Caravaggio and His Time”
Saturday 14 May 2016, 18:00–20:00
With support from: Mitsubishi Corporation (with 29 Mitsubishi volunteers)
Participants: 171

3) Family Programs

The Family Program is a free program aimed at children aged 6–9 and accompanying adults. Doyo Bijutsu (Saturday Art Workshop) sessions were conducted by members of the Education Department staff and volunteer staff.

■ Doyo Bijutsu (Saturday Art Workshop)

This program consists of art appreciation in the Permanent Collection Galleries and creative or experimental activities in the workshop room.

“Bright Places, Dark Places”

After looking at paintings in the galleries and how they depict dark and light areas in their compositions, the group moved to the workshop room where participants enjoyed cutting out their desired shapes in color, and then layering them to achieve color effects.

Saturday 2 and 16 April, Saturday 7 and 21 May 2016, ① 10:00–12:00
② 14:00–16:00
Total participants: 120

“Let’s Rediscover the NMWA Buildings! 2016”

The NMWA Main Building and Forecourt were designated World Heritage Sites in July 2016, and so we held architectural tours in which parents and children could enjoy the building’s special features. We then made paperweights out of concrete, the material used in the Main Building structure.

Saturday 3 and 17 September, Saturday 1 and 15 October, Saturday 5 and 19 November 2016, ① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00
Total participants: 178

■ Wow! Frames!

We looked at three paintings in the galleries, focusing on their frames, and then used cardboard in the Workshop Room to cut out and build our own frames.

Saturday 4 and 18 March 2017, ① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00
Total participants: 54

4) School Programs

■ School Gallery Talk

This by-reservation-only program involved group tours of the Permanent Collection Galleries, led primarily by volunteer staff members.

Participants:

Under age of 6: 148 (2 groups)
Primary School (ages 7 to 12): 1,834 (40 groups)
Junior High School (ages 13 to 15): 471 (22 groups)
Over the age of 16: 360 (20 groups)
Total participants: 2,793 (83 groups)

■ Orientation

This by-reservation-only program involved Education Department staff members presenting lectures explaining the works on display in the Permanent Collection Galleries or special exhibitions. These talks were aimed at large-scale audiences and held in the Lecture Hall.

Participants:

Primary School (aged 7 to 12): 234 (3 groups)
Junior High School (aged 13 to 15): 288 (3 groups)
Over age of 16: 431 (10 groups)
Total participants: 953 (16 groups)

■ Museum Visits for Extracurricular Activity

These group visits involved middle school and high school students in coordination with their Integrated Courses at school. The Education Staff members led these groups, and provided information regarding a curator’s job, artworks, and the art museum itself.

Participants:

Junior High School (ages 13 to 15): 11 (3 groups)
Total participants: 11 (3 groups)

■ Art Card Set

The Education Department loans Art Card Sets to schools for classroom use. Each set includes an instruction booklet and 65 cards with images of artworks from the collections of the National Museums of Art member museums.

Borrowers:

Elementary School: 6 (52 sets)
Junior High School: 2 (15 sets)
Over age of 16: 5 (13 sets)
Total borrowers: 13 (80 sets)

■ Teachers’ Programs

This program has been designed for elementary, middle school, and high school teachers and other educational staff members. The program includes a brief overview of the exhibition’s contents, discussion of a few works on display and free entry to the exhibition during designated hours. All lectures at auditorium, free of charge

[Israel van Meckenem & Early German Engraving]

Friday 29 July 2016, free entry 9:30–20:00, lecture 18:00–18:40
Asuka Nakada (Curator, National Museum of Western Art)
Participants: 60 (13 with lecture)

[Lucas Cranach the Elder]

Friday 4 November 2016, free entry 16:00–20:00, lecture 18:00–18:40
Atsushi Shinfuji (Curator, National Museum of Western Art)
Participants: 50 (35 with lecture)

[Théodore Chassériau]

Friday 31 March 2017, free entry 16:00–20:00, lecture 18:00–18:40
Megumi Jingaoka (Curator, National Museum of Western Art)
Participants: 31 (16 with lecture)

■ Teachers’ Seminars

With the aim of furthering connections between schools and the art museums, the NMWA and other museums jointly planned and held study group meetings for primary and middle school teachers’ associations to encourage visual learning experiences.

Organizers: Tokyo Junior High School Art Education Society, National Museum of Modern Art, Tokyo (MOMAT), Museum of Contemporary Art, Tokyo, Tokyo Metropolitan Art Museum and NMWA.
Monday 25 July 2016, 9:00–17:00 Art appreciation programs at MOMAT

5) Volunteer Activities

The NMWA volunteer staff was divided into three groups, which then provided support for various museum programs, and also implemented their own programs. The volunteer staff also participated in training sessions to gain the essential skills and knowledge needed to work at the NMWA.

■ Activities

Group A: School Gallery Talks and Family Programs

Group B: Art Talks

Group C: Architectural Tours

All groups: Fun Day, Christmas Program and programs designed by the volunteers themselves.

■ Training and Meetings

[Follow-Up Seminars for Volunteers]

Saturday 28 May: “On the NMWA Museum Buildings”
Kyo Fukuda (Administrator, National Museum of Western Art)

[Seminars for volunteer candidates]

Tuesday 7 June: “On the Role of the NMWA”
Kazushige Yamashita (Deputy Director, National Museum of Western Art)
“On the NMWA Collections”
Hiroya Murakami (Deputy Director, National Museum of Western Art)

Tuesday 21 June: “On the World Heritage Registration”
Kyo Fukuda

Tuesday 28 June: “On the World Heritage Registration”
Kyo Fukuda
“Le Corbusier’s Architecture”
Yoshiyuki Yamana (Professor, Tokyo University of Science)

Tuesday 5 July: “On the NMWA Collections ①”
Hiroyo Hakamata (Curator, National Museum of Western Art)
“On the NMWA Collections ②”
Atsushi Shinfuji (Curator, National Museum of Western Art)

Tuesday 12 July: “On the NMWA Main Building”
Isamu Yoneyama (Curator, Edo-Tokyo Museum)
Study Tour of the National Archives of Modern Architecture

Tuesday 19 July: “On the NMWA Collections ③”
Yusuke Kawase (Curator, National Museum of Western Art)
“On the Conservation of Art Works”
Naomi Hemuki (Conservator, National Museum of Western Art)

Tuesday 9 Aug.: “On the Contents of the NMWA Architectural Tours” and “Study Tour of the NMWA Main Building”
Kyo Fukuda
“On Art Talks and the Procedure Used in NMWA Architectural Tours”
Yoko Terashima and Hisako Sugiura (Educators, National Museum of Western Art)

Tuesday 23 Aug.: “On the Family Program Doyo-Bijutsu”, “On the NMWA Education Programs”
Yoko Terashima
“On Assisting in this Autumn’s Doyo-Bijutsu Program”
Hisako Sugiura

Tuesday 20 Sept.: “On the NMWA Collections ④”
Shinsuke Watanabe (Curator, National Museum of Western Art)
“On the NMWA Collections ⑤”
Megumi Jingaoka (Curator, National Museum of Western Art)

Tuesday 4 Oct.: “On the NMWA Collections ⑥”
Asuka Nakada (Curator, National Museum of Western Art)
“On the NMWA Collections ⑦”
Takashi Iizuka (Curator, National Museum of Western Art)

Tuesday 18 Oct.: “How to Use the NMWA Research Library”
Masako Kawaguchi (Librarian, National Museum of Western Art)
“On the NMWA Education Programs ②”
Saki Yokoyama (Educator, National Museum of Western Art)

Tuesday 25 Oct.: Workshop “Look and Think”
Terufumi Ono (Director, Mie Prefectural Museum)

Tuesday 8 Nov.: “On the Elementary School Learning Standard”
Kyoko Okada (Senior Curriculum Specialist of the Elementary and Secondary Education Bureau, Ministry of Education)
“On the NMWA School Gallery Talk Program”
Yoko Terashima

Saturday 25 Mar. 2017: “On School Gallery Talk and Art Talk Procedures”
Hisako Sugiura
“On the Hokusai and Japonisme Exhibition”
Akiko Mabuchi (Director, National Museum of Western Art)

*In addition to attending the above lectures, the volunteer candidates also assisted with the Doyo Bijutsu and Architectural Tour programs, while also holding practice rounds of the School Gallery Talks, Art Talks and Architectural Tours that volunteers would conduct during the following fiscal year.

6) Internships

As part of its mission to develop human resources in areas related to Western art and also as a way to further garner and broaden understanding of the museum’s activities, the museum invites the participation of interns at the graduate student level and higher. Under the direction of a staff member, these interns help with surveys of museum artworks and assist with the planning of exhibition-related and educational programs, with each intern taking part in hands-on work in their own specific area of specialization.

[Education]

Interns: Asagi Takechi, Kanako Koyanagi, Satomi Horikiri, Marie Inagaki
Term: 1 May–31 October 2016
Supervisor: Yoko Terashima
Training Program: Assisted with education programs and with making a self-guided brochure for children.

[Painting/Sculpture/Drawing]

Intern: Kazuma Yoshida
Term: 1 May–30 September 2016
Supervisor: Yusuke Kawase
Training Program: Assisted with research on works in the NMWA collection and with the Painting and Sculpture Department’s duties.

Intern: Naoyuki Umemura
Term: 1 May–31 October 2016
Supervisor: Atsushi Shinfuji
Training Program: Assisted with research on works in the NMWA collection and with the Prints and Drawings Department’s duties.

Intern: Manami Ryu
Term: 1 May–31 October 2016
Supervisor: Asuka Nakada
Training Program: Assisted with preparation of the exhibition and catalogue editing.

[Research Library]

Intern: Yukako Ishiguro
Term: 1 May–31 October 2016
Supervisor: Masako Kawaguchi
Training Program: Assisted with assembling NMWA resource materials and library services.

Intern: Tatsuya Kawasaki
Term: 1 May–31 July 2016
Supervisor: Masako Kawaguchi

Training Program: Assisted with assembling NMWA resource materials and library services.

7) Cooperation with Other Institutions

■ Cooperation with the Graduate School of Humanities and Sociology, University of Tokyo

Term: 1 April 2016–31 March 2017

This program sought to deepen the understanding of Cultural Materials Research specialists in the University of Tokyo program and carry out mutual exchange on research and education.

■ Cooperation with the Tokyo Metropolitan Art Museum

Term: 1 April 2016–31 March 2017

Facilitated the free admission to the NMWA for participants in the Tokyo Metropolitan Art Museum's Museum Start A-I-U-E-N-O program, also conducted Gallery Talks for the participants.

■ Cooperation with the National Science Museum

Term: 26–29 July 2016

Participants in the National Science Museum's "Museum Day for Educators" program were granted free NMWA admission and information was provided regarding the NMWA's educational programs.

■ Cooperation with the Taito City Board of Education

Term: 1 April 2016–31 March 2017

In cooperation with the Taito City Board of Education's "Campus Planning for Study" program, the NMWA Education Department provided information on NMWA programs aimed at schools.

8) Publications

■ Exhibition Brochures

"Sacred and Secular: Israhel van Meckenem & Early German Engraving"

"Lucas Cranach the Elder: 500 Years of the Power of Temptation"

"Théodore Chassériau: Parfum Exotique"

■ Junior Passports

Exhibition guide for primary school and junior high school students:

"Sacred and Secular: Israhel van Meckenem & Early German Engraving"

"Lucas Cranach the Elder: 500 Years of the Power of Temptation"

"Théodore Chassériau: Parfum Exotique"

■ Zephyros

NMWA Newsletter, Nos. 67–70

(Yoko Terashima, Saki Yokoyama, and Hisako Sugiura)

Staff List (in alphabetical order)

[Education]

Shigehiro Maezono, Hisako Sugiura, Yoko Terashima, Saki Yokoyama

Eiko Hiramatsu, Kazu Ishikawa (guest researchers)

[Volunteer Staff]

Marie Ando, Tomoko Arai, Nobuo Bunya, Keiko Fukura, Akemi Hamada, Noriko Hashimoto, Tamaki Hatanaka, Kaneko Hinotani, Megumi Hiraga, Tamami Inamori, Naoko Inoue, Sachiko Ishikawa, Kiiko Isoda, Naoya Maeda, Michiko Miyoshi, Hiroe Moriyasu, Yasuko Nagai, Hiromi Nakamura, Keiko Nakano, Sae Nakao, Yuko Nakayama, Michiko Nishida, Shigeru Ogawa, Takashi Ohori, Shihoko Okada, Masau Okada, Maki Ozao, Tamaki Sakakibara, Hiroe Sato, Koichi Sawano, Shinichi Shiota, Eiko Shiota, Yuki Suzuki, Ichiko Suzumura, Keiko Tagami, Ryoko Takano, Takenori Taniguchi, Shoko Wada, Mitsue Yamamoto, Misako Yokohata